



西村証券

チーフストラテジスト  
門司総一郎の

# ウィークリーレポート

2019年  
11月11日  
発行

## 第4回 足元の日本株の上昇について

### 初めに

日本株は9月に入って上昇に転じましたが、出来高も少なく力強さを欠くものとどまっていました。しかし11月に入ってからは上昇ペースが加速、出来高も増え、力強い上昇に変わってきたように見えます。この上昇は当面続くと予想していますが、今回はそう考える理由を説明します。

### 10月の日本株上昇

10月に日本株が上昇した際に理由として挙げられたのは、米中交渉の進展や日本株の割安感。そもそも保有している投資家が少ないので売り圧力も小さいといった安心感などでした。米中を除けば、いずれも後ろ向きな理由です。このように考えて当時の自分は、この上昇は長くは続かないと予想していました。

### 日本株の上昇加速

しかし自分の予想とは逆に11月に入って日本株の上昇は加速しました。ただしこれは日本株の割安感や安心感が評価されたからではありません。きっかけになったのは次世代通信規格「5G」への期待感と米国のIT企業の好決算です。

### 5Gへの期待感

5Gの実用化は今年の春から始まっていましたが、これまで株式市場で材料視されることは余りありませんでした。しかし最近では、「中国、5G商用開始、50都市に13万基地局」、「(サムソン)次世代技術導入、TSMCに挑む、5Gにらみ年1兆円投資」など、5G関連の投資が活発化していることを示す記事の見出しが目につきます。この5G関連への期待感が11月に入ってからの日本株上昇加速の理由の1つと考えています。

### 新たな市場獲得が期待されるIT企業

もう1つ日本株の上昇を加速させたと思われるのが米国の7-9月期決算発表で多くのIT企業が好決算を発表したこと。クラウド部門が好調だった企業が多いようですが、この点には注目しています。今までIT企業と言えばGAFAに代表されるようにスマホを活用した消費者向けビジネスの印象が強かったのですが、クラウドやIoTとなると企業向けビジネスです。IT企業にとってはまだまだ新しい市場ということになります。こうした5Gや企業向けのビジネスの拡大は日本企業にも恩恵があると期待されます。

### 一過性のものではない足元の日本株上昇

以上申し上げたように割安感などの一時的要因ではなく、5G投資などによる景気や企業業績の改善を期待できることが足元の日本株上昇の理由であり、同時に上昇が今後も持続すると考える理由でもあります。もしこの見通しが正しければ、中間決算で一旦売られた電子部品株などが市場をけん引することになると予想されます。

### ソフトバンクの決算について

最後に先日発表されたソフトバンクの決算に触れておきます。スタートアップ、ユニコーンなどと呼ばれる未上場企業の問題は将来の株式市場にとってのリスクと考えています。現時点では金利が低く抑えられているためすぐに大きな問題となる可能性は小さいと思いますが、将来金利が上昇することがあれば大きな問題になる可能性もあるでしょう。ただし米国や中国に比べて日本はスタートアップなどの企業が少ないことが問題視されているので仮にそうした事態になっても影響は米中と比べて小さいと思われます。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES CO., LTD.  
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)  
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号  
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業  
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。